

## [ 経営方針 ]

### [ ビジネスの基本スタンス ]

インターネットを中心としたネットワーク社会への変革の流れは、全世界的に新しい社会システムと秩序を生み出そうとしています。このような状況の中で、富士通グループは、ITこそが新たな成長の源泉である、というお客様の期待に応えるよう、「カスタマ・フォーカス」の視点に立って、「お客様の視点で考え」、「お客様と共に作り」、「お客様のために運用」するトータルなソリューションを提供してまいります。

### [ 対処すべき課題と事業戦略 ]

インターネットが新しい社会インフラとして必要不可欠なものとなりつつある中で、当社は、グループ全体の事業戦略を「Everything on the Internet」として明確化し、「富士通こそが、インターネット時代をリードする企業グループ」となることを目指し、以下の3つのNo.1を目指します。

- ・ No.1 インターネットソリューション :

最先端のテクノロジーに支えられたプラットフォームを基盤として、お客様に最適なソリューションを提供してまいります。

- ・ No.1 インターネットサービスプロバイダ :

ニフティ株式会社の運営する@nifty が、会員のみならずにとって魅力あるサービスをご利用いただけるインターネット上の仮想都市として成長するよう、また、企業をはじめとする私たちのお客様にとってインターネットを利用した様々なサービスを提供できる「場」としてご活用いただけるよう、努めてまいります。

- ・ No.1 インターネットユーザ :

富士通グループ自らが、インターネットを最大限に活用して新しい事業や経営スタイルを築き、スピードと柔軟性を兼ね備えた企業になることを目指します。

今後とも富士通グループ各社を取り巻く経営環境はさらに激しく変化することが予想されます。インターネットのコアとなる分野への経営資源の集中を通じ、成長性と収益性の向上に努め、併せて経営効率化を推進し、財務体質の強化に注力してまいります。さらに、グローバルなビジネス展開をより一層推進していくうえで、富士通グループとしてのコーポレートブランドの構築をめざしてまいります。また、地球環境問題を経営上の重要課題としてとらえ、環境に配慮した製品づくり、環境会計の実施、東南アジアにおける従業員ボランティアを主体とした植林活動など、引き続き事業活動のあらゆる面において、環境負荷の低減を積極的に推進してまいります。

こうした努力を続けることにより、来るべき 21 世紀をリードし、お客様や社会から信頼されるグローバルカンパニーをめざして、常に自己革新を推進してまいりたいと存じます。

### [ 事業体制の整備 ]

事業体制については、昨年 6 月、事業執行のスピードアップならびに経営戦略立案機能の強化を図るため、事業執行単位を社長直属のBU(ビジネスユニット)とし、各BUに執行権限を委譲いたしました。同時に、グループ経営戦略の立案機関として経営戦略会議を新設いたしました。

さらに、今後のビジネス環境に対応した体制づくりと事業責任の明確化を目的として、本年 4 月 1 日をもって役員担務の変更を含む組織再編を行い、営業年度の開始とともに新体制でビジネスを進めております。